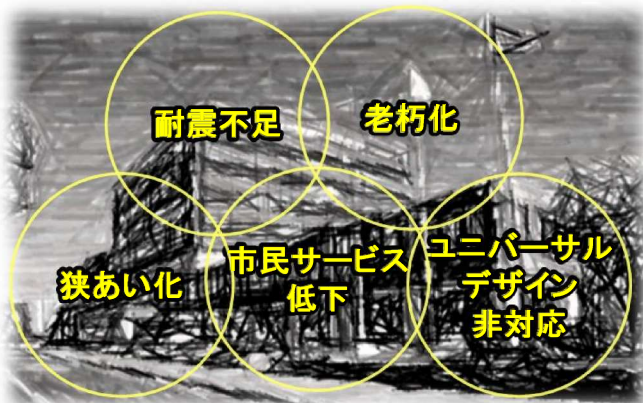


伊丹市新庁舎整備事業 概要版(実施設計中間報告) 伊丹市

平成28年6月に発生した熊本地震を契機として、防災拠点としての市庁舎の重要性を再認識。
建て替え計画の大幅な前倒しを行い、令和4年11月の開庁を目指し、新庁舎の整備を進めています。

現庁舎の現状と新庁舎の必要性



名称	建築年	階数	延床面積	耐震
現庁舎	昭和47年 (1972年)	地上7 地下2	21,220㎡	×

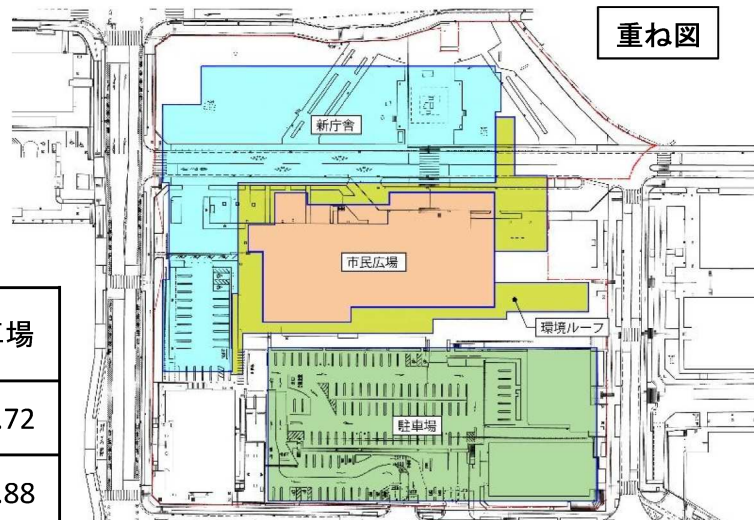


新庁舎建設の検討経緯

- I. 平成14年12月 庁舎耐震診断を実施【伊丹市庁舎耐震診断設計（報告書）】
□庁舎が一体なった形状の場合、必要とされる耐震性能に対し、40～70%の耐力
- II. 平成19年 5月 公共施設再配置計画（市役所周辺）を策定
□工事期間・費用との関係から、耐震補強が最も効率・効果的と判断
- III. 平成22年11月 伊丹市庁舎対地震化計画及び周辺施設再配置計画を策定
□再配置計画（平成19年）を再検討（工事工程、仮設計画、引越計画、総事業費等を含めた工法の選択）
□既存躯体の対地震化工法は、免震工法が耐震工法に比べて優位
□各評価項目の評価結果を考慮すると、敷地内新築案が最も優位（工事後の庁舎性能、工事中的影響等）
- IV. 平成28年 2月 伊丹市公共施設再配置基本計画を策定
□建て替え時期については、次期総合計画（第6次）期間内（平成33年～平成42年）の検討を予定
- V. 平成28年 6月 建て替え時期の前倒しを表明
□熊本地震の教訓から、建て替え時期の前倒しを決定し、表明
- VI. 平成29年 1月 公共施設等適正管理推進事業債の創設
□事業年度（平成29年度～平成32年度）にあわせ、建て替え時期を平成32年度とする
□建設場所について、中心市街地を含めた庁舎移転を検討した結果、現庁舎場所での建て替えを決定
- VII. 平成30年 3月 伊丹市新庁舎整備基本計画を策定
- VIII. 平成30年12月 伊丹市新庁舎整備基本設計が完了（隈研吾建築都市設計事務所）
- IX. 平成31年 1月 伊丹市新庁舎整備工事（設計・施工一括発注）の総合評価方式一般競争入札を実施
- X. 令和元年 6月 大成建設株式会社神戸支店と伊丹市新庁舎整備工事の請負契約を締結
- XI. 令和 2年 1月 新庁舎建設工事着工
- XII. 令和 2年 6月 伊丹市新庁舎整備工事実施設計中間報告を策定

新庁舎規模

構造種別	S造（地上階）、RC造（基礎） 免震構造、耐火建築物
敷地面積	19,953.35㎡（公簿面積）
建築面積・延床面積	下記参照（抜粋）
階数・高さ	地下1階・地上6階、約28.09m



	新庁舎	環境ルーフ (テラス等)	市民広場 (地下)	現駐車場
建築面積	4,424.32	1,580.92	1,149.86	2,065.72
延床面積	21,978.50	1,399.70	4,111.71	2,211.88

新庁舎建設の基本的な考え方

耐震安全性（免震構造）
災害時にも業務継続が可能（電力・水）

ユニバーサルデザイン
総合窓口機能

安全・安心の
庁舎

多機能で
誰もが
利用しやすい
庁舎

市民の安全・安心な
暮らしを支え
夢と魅力が
あふれる庁舎

質の高い
行政サービス
を実現する
庁舎

環境に
配慮した
庁舎

ZEB庁舎
太陽光発電
県産木材利用

ユニバーサルレイアウト
ペーパーレス
キャッシュレス
発想を生み出す会議室
AI・RPA

＜世界的に著名な建築家（隈研吾氏）設計＞

基本設計は新国立競技場などで有名な隈研吾氏が手掛け、
木材を活かした温かみのあるデザイン

＜北側クスノキ広場の既存樹木の利用＞

北側緑地にあるクスノキを再利用し、内装材・外構家具
のほか、本市ゆかりの彫刻家によるアートワーク



Animal 2016-01 2016
©Atsuhiko Misawa

卓の少年－太陽－
（部分）2015
©TANADA Koji

＜全国トップレベルの環境配慮型庁舎＞

環境性能向上による
ZEB Ready

運用段階のZEB実現と
エネルギーコスト縮減

環境配慮型次世代庁舎※
《西日本初の新築ZEB庁舎》を実現

※大規模庁舎（10,000㎡超）の

ZEB Ready 認証取得は全国初となる見込み



ZEB (Net Zero Energy Building)

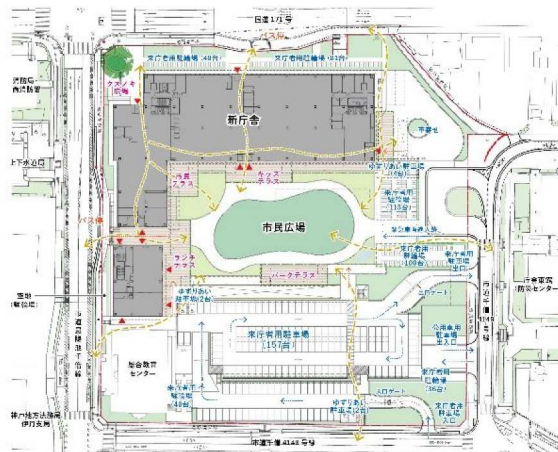
快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する石油やガスなど
エネルギーの年間消費量をゼロとすることを目指した建物のこと
ZEB Readyは省エネで50%以上の削減を達成するもの

（省エネイメージ）



新庁舎配置計画・フロア構成

- ◆敷地中央の市民広場を中心に新庁舎を敷地北側及び西側にL字型で配置します。
- ◆駐車場及び駐輪場を敷地南側及び東側に配置します。
- ◆市道昆陽池千僧線のバス停〔裁判所前2（南行）〕を新庁舎の西側に移設します。
- ◆車寄せは敷地北東側に設け、庁舎東側の出入口にアクセスしやすい場所にゆずりあい駐車場を計画します。



6F

- 展望スペース
- 機械室
- 屋上緑化・太陽光パネル

5F

- 大会議室
- 執務室

4F

- 執務室
- 議会エリア
- 屋上緑化・設備機械置場

3F

- 執務室
- 議会エリア

2F

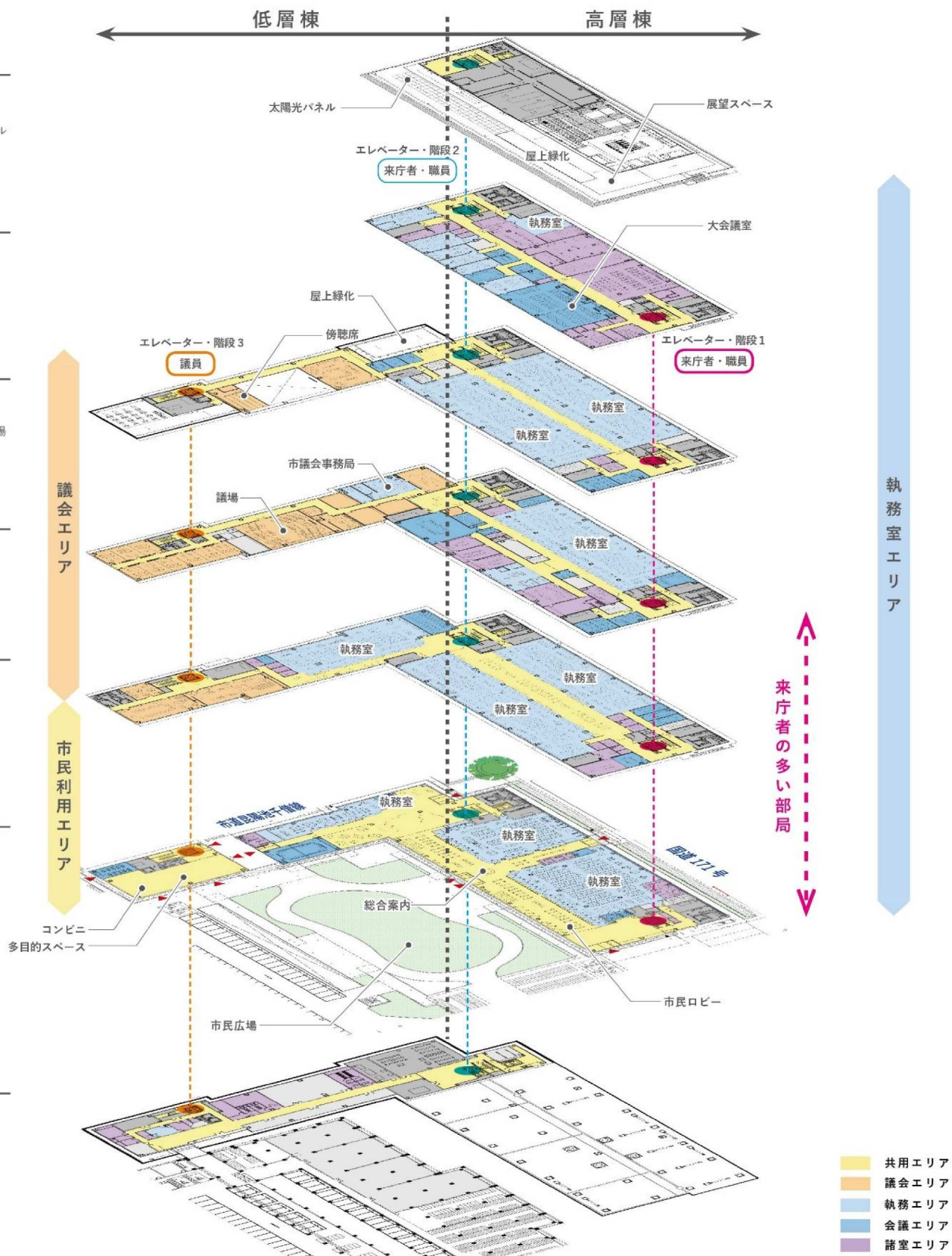
- 執務室
- 議会エリア

1F

- 市民協働スペース
- 多目的スペース
- コンビニ
- 総合案内・市民ロビー
- 執務室

地下 1F

- 免震ビット
- 執務室
- 更衣室
- 倉庫
- 公用車駐輪場



事業費及び財源

設計・施工一括発注方式により、実施設計費及び建設工事費については、契約額です。また、実施設計監修費及び工事監理費についても契約済の額となっています。

外構工事費及び備品購入費等は概算見込額を記載しています。

また、新庁舎建設事業の財源は、主に公共施設等適正管理推進事業債の市町村役場機能緊急保全事業を活用し市民負担を軽減します。

項目	金額	備考
実施設計費 建設工事費	107.7億円	解体工事含む
実施設計監修費 工事監理費	1.8億円	
外構工事費	5.0億円	
その他経費	10.6億円	備品購入費等
合計	125.1億円	

＜新庁舎整備事業費の財源内訳＞

※赤字は契約額、青字は見込み額

起債対象経費			
交付税措置対象		交付税措置対象外 (資金手当)	一般財源 10% 基金の活用 が基本 起債対象経費を 超える部分 一般単独事業債 (充当率75%・ 交付税措置なし)
充当率	75%	15%	
交付税措置	30%	交付税措置なし	

新庁舎建設スケジュール(関連工事含む)

第1期工事



北側緑地の造成工事、新庁舎の建設工事を行います。

第2期工事

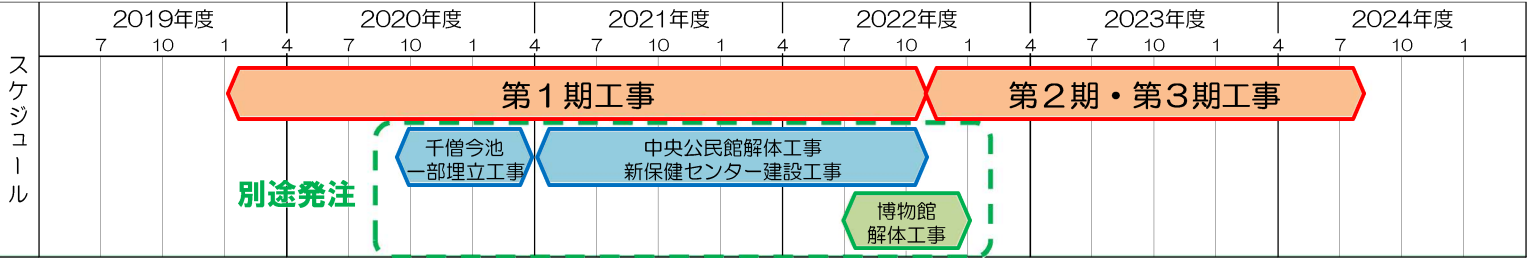


新庁舎建設後に現庁舎、保健センター、医師会の解体工事等を行います。

第3期工事



市民広場、周辺道路改良等の外構工事を行います。



新庁舎完成イメージ